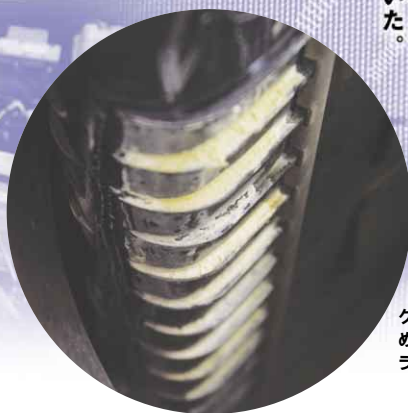


インターネットで ラジエーターを 購入するということ。

最近、とあるラジエーターのネット通販が熱いらしい。知るひとぞ知るそのサイトでラジエーターを購入したひとに、そのサイトを知るまでのいきさつと、実際に装着しての感想を聞いた。



純正ラジエーターを外して観察してみると、アッパーホースの取り付け部にこのようにパッカリと割れた亀裂が見つかった。はつきりしないけれど、組み込み時の締め付け過ぎが原因らしい。



クーラントが漏れていたアッパーホースの締め付け部分下には、乾燥して白くなったクーラントがこのようにこびり付いていた。

純正の半額ほどと、
驚くほどリーズナブルな
ラジエーター。

オートボックス瀬戸店に勤める堀内裕二さんがボルボ960エステート2.5 24Vの新車を購入したのは95年のこと。それまではヨタMR2に乗っていたが、ボルボ850の人氣に魅惑され、3年間考えた末に購入したそう。現在では3匹買っているという愛犬のトレーニングに出掛けるためと通勤に欠かせない相棒になっている。

そんな960だが、買ってすぐの頃、早くもクーラントが漏れ始めたことに気が付いたそう。後で知ることになるのだが、960はラジエーターのタンク部、アッパーホース側の取り付け部分のプラスチックが弱く、クーラントを締め付け過ぎると、それが割れてクーラントが漏れてくることがあるそう。

新車で買ってから9年。堀内さんは月に3回くらいクーラントを継ぎ足し、継ぎ足し960を走らせてきた。クーラントはいじもクルマに積んでいる。しかしやっぱり精神的に落ち着かない。昨年くらいから故障も多くなってきた。

そんな時ある日、ボルボオーナーのサイトを見ていた堀内さんは、「クーリングシヨップドットネット」なるラジエーターの通販サイトを知った。気になる価格を見てみるとなんと2万2500円と驚くほどリーズナブル。純正ラジエーターを修理すると、1万5000円から2万円程度は掛かる。クーリングシヨップドットネットのラジエーターなら、それプラスアルファで新品が手に入る。堀内さんがこのサイトでラジエーターを購入するのには時間は掛からなかった。

製品のクオリティも 驚くほど高い。

堀内さんは5年ほど前からパソコンをはじめ、いまではネット通販にもまったく抵抗がないどころか、趣味関係のものに関しては、ネット通販を積極的に活用しているのだそう。その最大のメリットはやはり品物がリーズナブルに買えるということ。

実は堀内さんは他にもいろいろなおサイトを調べてみたらしいのだけれど、「こまどり」スナブルにラジエーターが買えることに驚いたことが大きな引き金となって、いままで交換には至らなかつたラジエーターを遂に購入することに決めた。

あまりにも安いから、ラジエーターのアッパー側、ロア側の純正ホースもディーラーにて購入。それでも純正品の5万円ほどより随分

安く抑えることができた。あとは品物が無事届くことを祈るだけだ。

そして、翌日。なんと、動いているオートボックス瀬戸店がオーブンのときは同時にヤマト便にて商品が届いた。この素早さにも驚いた堀内さんである。

あわてて梱包を開けてみたところ、別に取り立て飾り気味もなければ(当たり前だ。ただのラジエーターなのだから)、しつかりした造りがなされていそうなラジエーターが入っていた。

届いたそれを次の非番の日に装着。取り付け穴の位置もぴったり合う。ラジエーターに限らず質の悪い製品は穴を広げたりして調整しなければいけないものも多いが、クーリングシヨップドットネットの製品はその点もまったく問題なかった。こんなところからかなりクオリティが高いことが分かる。アッパー側ホース取り付け部のプラスチックも純正ラジエーターより厚く丈夫だった。

そうこうして無事装着が終了。装着前は一晩で10cmほどの大きさになったクーラントの水たまりもいまではなくなつた。いまは純粋に960のある生活を楽しんでいるそう。



「ご存じ愛車用の洗車道具からカーオーディオナビ、エーティング&ドレッシング、オイルケミカル類などを取り揃えるシヨップ。今回の企画に協力いただいた堀内裕二さんは年間200台の車両にセキリテを取り付ける、セキリテのアドバイザー。特にクリフボードパイの取り付けに自信あり。

取材協力 オートボックス瀬戸店



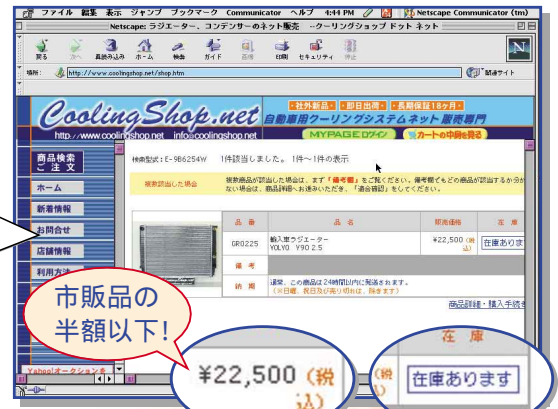
堀内さんが「クーリングショップ ドット ネット」のラジエーターを装着するまで。



クーラントを継ぎ足し継ぎ足し、つまり、だましまし走ってきたけれど、それではいつまで経っても精神的な安定が得られない(ちょっとオーバー?)、というところで、あるボルボ740オーナー(このひとDIY派)のサイトにアドレスが載っていた「クーリングショップ ドット ネット」なるラジエーター通販のサイトに飛んでみた。「excite」や「Google」で「ラジエーター」と検索した結果、スポーツカーの一番上に現れるのもこのサイトだそう。その他、「YAHOO! JAPAN」でも「ラジエーター」で検索した結果、上位にこのサイトが現れる。かなり信頼できる会社のように、安心感が強い!



早速内容をチェックしてみる。ネット通販に関してイマイチ信用できないというひともいまだに多い。理由としては、お金だけ持っていかれるんじゃないかと、品物が届いても、それがとんでもない劣悪なものだったら...という心配があること。サイトをじっくり見た結果、ここは長期の保証が付いていると、いろいろサービスが付随していることも分かった。このサイトは信用できそうだ!



一番驚いたのがそのリーズナブルさ。ディーラーで愛車の純正ラジエーターの価格を尋ねたら5万円ほどだった。これなら半額以下だ。購入しようかどうか迷っていたけれど、この金額を見た瞬間、即、注文することにした。あまりのリーズナブルさに、ついでに純正のアッパーホース、ローアホースもディーラーにて注文してしまった。

手続きは簡単。車種名と車検証にある型式番号を打ち込むだけだった。適合可能かどうか心配な時は、フォーマットに必要事項をするだけで事前に調べてくれるサービスも行っているようだ。また、リストにない車種の場合も、適合するものがあるかどうか調べてくれる。在庫があるため24時間以内に発送される。明日が楽しみだ。



「まったく漏れもないよ!」

動めているオートバックス瀬戸店のビットにて、届いたラジエーターを装着した。DIY派としては当然自分で作業を行ったのだが、純正とほとんど同じ形状で難なく作業が終了。メカニックも「これなら純正とまったく変わらないね。純正と言ってもわからないんじゃないかな」と、その出来の良さにびっくりしていた。もちろん、アッパーホースの取り付け部からも漏れはない。ちなみに取り付け前にチェックしたら、その部分のプラスチックが純正より厚かった。これなら強度的にも大丈夫そうだ。



見たところ、ディーラーなどで扱っているごく普通の純正ラジエーターと変わりない。実際に風を受けるコア部分も、その横のタンク部分もしっかり出来ていそうな印象だ。



翌日、お店がオープンして間がない時間に、早くも「クーリングショップ ドット ネット」から手元に商品が届いた。あまりの素早い確実な対応に驚いたほどだ。届いたのがこれ。早速中身を開けてみる。



ラジエーターを交換後、新しいクーラントを入れ、早速走ってチェックしてみた。その前に下回りを覗き込んでみたけれど、いままでのように漏れることもなく、エンジンも快調に回っている。自宅に帰り、次の朝クルマの下を見てみたけれど、いままでのようにクーラントが溜まっていることもなかった。渋滞にハマっても水温が上がってくる前兆すらない。僕がこのラジエーターを知るきっかけとなったボルボ740オーナーのサイトによれば、冷却効率も純正より高いそうだ。この製品が確実なことが分かった。それに、最長18ヶ月の保証まで付いてくる。こんなに優れたネット通販ってあまりないのでは?

クーリングショップドットネット

http://www.coolingshop.net
info@coolingshop.net (問い合わせ窓口)



通常5万円ほどもあるボルボ960用ラジエーターが2万5000円と驚くほどリーズナブル!ではなぜリーズナブルなのか? 通常パーツメーカーが作った製品は即回運送し、クレーンや自動車修理工場に送られる。一般ユーザーがパーツを買うのはクレーン車や自動車修理工場だから、その中継費も発生するけれど、運送コストもかさねてしまおう。しかし、このクーリングショップドットネットの場合は、いわゆるB to Cであり、販売者(購入希望者が直接やりとりをする)も、余分な人件費や運送コストが掛かかっていない。だからリーズナブルに商品を提供することができるだけでなく、無駄な時間も掛からず、迅速に配送することも可能となっているのだ。

保証も付いて安心! 信頼のポイント

この検索サイトでも「ラジエーター」と入れると10ページほど出て「クーリングショップドットネット」が表示されるのはこのサイトが信頼を得ている証拠。それもそのはず。イエスという信頼技術のアイテムでは12ヶ月も普通のものなら18ヶ月もという長い保証が付いたり、信頼性の高さだけでなくアフターサービスも充実しているのだが、こうしたアフター保証が付くのは珍しい。しかも自信がないという場合には「返品」も可能なのだ。